

## 耐力度調査業務委託仕様書

本業務は、下記によって実施するものとする。

1. 委託業務番号 令 8 学教委第 56 号
2. 委託業務名 令和 8 年度 旭志中学校耐力度調査業務委託
3. 履行場所 菊池市旭志小原 地内
4. 期間 契約日の翌日から令和 8 年 10 月 30 日

### 5. 調査対象建物概要

学校名	棟番号	名称	構造	建築年月	床面積
旭志中学校	1	管理棟	R	S52.02	1,430 m <sup>2</sup>
	2	普通教室棟	R	S52.02	791 m <sup>2</sup>
	3	技術科棟	S	S52.02	200 m <sup>2</sup>
	4	家庭科棟	S	S52.02	198 m <sup>2</sup>
	5-1	倉庫	S	S52.02	110 m <sup>2</sup>
	13	昇降口棟	R	H15.08	210 m <sup>2</sup>

### 6. 業務概要

対象建物について、「公立学校建物の耐力度調査実施要領」（平成 30 年 4 月 2 日付 29 文科施第 422 号）に基づき、調査報告書の作成を行う。

### 7. 受託者の資格要件

管理技術者は、建築士法（昭和 25 年法律第 202 号。以下同じ）第 2 条第 2 号に規定する一級建築士とする。

担当技術者は、建築士法第 2 条第 2 号に規定する一級建築士で、同種同業務の実務経験を有するものとする。

### 8. 業務体制

業務体制報告書には、次の内容を記載する。（業務着手後、14 日以内に提出）

- (ア)管理技術者の氏名、役職、保有資格、実務経験年数、過去 3 年以内の同種又は類似業務の実績及び手持業務の状況
- (イ)担当技術者の分担分野、所属、氏名、保有資格、実務経験年数、同種又は類似業務の実績
- (ウ)業務の一部を再委託する場合は、協力事務所の名称、代表者名、所在地、分担業務分野、協力を受ける理由及び具体的内容

## 9. 調査内容

次の事項により現地調査、図面作成及び耐力度の計算を行い、調査票を作成する。

区分	項目		特記事項
④構造耐力	①保有耐力	水平耐力	旧耐震の棟は耐震診断の結果を活用することができる。
		コンクリート圧縮強度	
	②層間変形角 $\theta$		
	③基礎構造 $\beta$		
	④地震による被災履歴 E		
⑤健全度	①経年劣化 T		
	②鉄筋腐食度 F		
	③コンクリート中性化深さ等及び鉄筋かぶり厚さ		はつり調査
	④躯体の状態 D		
	⑤不動沈下量 $\phi$		
	⑥コンクリート圧縮強度 k		コア抜き試験
	⑦火災による疲弊度 S		
⑥立地条件	①地震地域係数		
	②地盤種別		
	③敷地条件		
	④積雪寒冷地域		
	⑤海岸からの距離		

## 10. 資料の貸与

対象建物の図面等は、製本図面またはCADデータ等で貸与する。また、旧耐震の建物は耐震診断報告書も貸与する。

## 11. 報告書

調査報告書は以下を原則とし、製本1部、電子データ1部を提出すること。

- ・耐力度調査票
- ・調査建物の意匠図・構造図
- ・各種測定結果
- ・調査写真
- ・打合せ記録簿

## 12. その他

(ア) 受託者は、業務の一部を第三者に委託する場合は、約款第12条第2項に基づき、「再委託承諾願」に「設計者経歴書」及び「契約書の写し」を添えて委託者に提出し、承諾を受けること。

(イ) 提出されたCADデータ等については、当該施設に係る工事の請負業者に貸与し、当該工事における施工図の作成、当該施設の完成図の作成及び完成後の維持

管理に使用することがある。

- (ウ) 県教育委員会による調査結果の確認が業務完了後となった場合は、ヒアリング等へ協力すること。